Sustainability

サステナビリティ経営基盤

すべてのビジネスパーソンが、日替わりでスーツを着られる世の中にしたい。
——高度成長期の1958年。
私たちAOKIグループは、体を守り、社会規範に沿うだけではない、
“装う喜び”を提案するファッション事業の創造に挑戦しました。
以来、“人々の喜びを創造する”を事業コンセプトに、新事業への挑戦を続けてきました。
常識を突き破る挑戦とイノベーションは、AOKIグループのDNAです。

サステナビリティビジョン

“喜び”のイノベーションで、より良い未来を

今、私たちは大きな時代の変化に直面しています。
少子高齢化の加速、デジタル革命、気候変動問題と脱炭素…
AOKIグループは、こうした変化を、脅威やリスクと捉えるだけでなく、
お客様をはじめとしたさまざまなステークホルダーの皆様とともにさらに成長するための
大きなチャンスにしていきます。なぜなら、時代の変化を推進力に、
人々に喜びをもたらすイノベーションに挑戦することこそが、
AOKIグループの存在意義だからです。

日本に暮らす人々が、より幸福に感じる日々を送れるように。
AOKIグループは、多様なステークホルダーの皆様とともに価値を共創する“喜び”のイノベーションで、
グループの一層の成長と、社会の持続可能性を実現していきます。

AOKIグループの経営理念とサステナビリティの考え方

AOKIグループは1958年の創業以来、「社会性の追求」、「公益性の追求」、「公共性の追求」という
3つの経営理念の実践を通じて経営課題に取り組んでまいりました。
これからもAOKIグループの経営理念を基本とし、
「サステナビリティ方針」の下、「人々の喜びを創造する」事業を通じて
社会課題解決と企業価値向上の両立を目指します。

サステナビリティ方針

1. **お客様満足、社会課題解決に資する商品・サービスの提供により、社会価値を創造します。**
2. **多様性を尊重し、企業活動に関わるすべての人々に、安心して活躍できる場を提供します。**
3. **ステークホルダーとの良好な関係を基本に、持続的な成長を目指し、その成果を社会に還元します。**
4. **法令を遵守し、規範に基づいた公正な取引により、お客様、お取引先様との良好な関係を維持します。**
5. **地域における学校・大学との連携や、次世代の人財育成などを通じ、地域社会の発展に寄与します。**
6. **商品・サービスを通じた再資源化、廃棄ロス低減の取り組みにより、環境負荷の最小化、地球環境の維持に貢献します。**
7. **企業情報の適時・適切な開示と対話を通じて、株主・投資家の皆様の信頼に応えます。**

サステナビリティ経営体制

(株)AOKIホールディングス取締役会

報告 ⇧ ⇩ 指示

サステナビリティ委員会

委員長	AOKIホールディングス取締役会が取締役の中から指名
メンバー	AOKIホールディングス取締役、部門長、グループ各社社長

基本方針、課題、年度計画、中長期計画の策定

【事務局】サステナビリティ推進室

プロジェクトの運営、推進、管理

⇕ 連携

コンプライアンス委員会・リスクマネジメント兼情報セキュリティ委員会

全社的なリスクの管理

持続可能な社会実現のため、AOKIグループとして果たすべき社会的責任を明確にし、以下の項目等を審議して取締役会に報告

❶ 基本方針および優先すべき課題策定
❷ 年度計画、中長期計画とその進捗確認
❸ 体制等の見直し

Sustainability

マテリアリティ・KPI

AOKIグループは、SDGs※をはじめとした国内外のイニシアティブや、ステークホルダーからの期待、当社グループとしてのありたい姿などを踏まえ、6つの重要課題（マテリアリティ）とKPI・目標数値を策定し、達成に向けて取り組んでいます。今後も、これらに基づいて事業活動を通じた取り組みをさらに推進し、AOKIグループの中長期的価値を向上させるとともに、社会全体の持続的成長に貢献していきます。

※「SDGs（エスディージーズ）」
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際社会共通の目標です。

マテリアリティ		KPIと目標数値（2030年度）		2022年度の実績および今後の取り組み
業態開発・イノベーション **商品・サービスを通じた新たな価値の提供を**	「人々の喜びを創造する」という事業コンセプトのもと、常に時代の一歩先を見つめて新たな業態開発とイノベーションに挑戦し続けてきたAOKIグループ。私たちは、これからもお客様の多様化するニーズや環境問題などの社会課題解決を視野に、新たな業態・商品・サービスを開発していきます。	環境配慮型商品の開発・発売件数	累計 50件	**●各事業の商品開発等：13件** ●ファッション事業：再生繊維利用製品等の開発12件 ●アニヴェルセル・ブライダル事業：パンフレットのデジタル化による紙資料削減 ●各事業における環境に配慮した商品・サービスの開発
人　財 **一人ひとりに働きやすさ・やりがいを**	私たちはAOKIグループらしい商品・サービスを創造していくために、従業員がやりがいを持って輝く環境が大切だと考えています。そのために一人ひとりの異なる個性に注目し、指向や能力に応じたキャリア形成を支援すると同時に、人財の多様性を最大限に活かす風通しの良い組織文化の醸成に努めていきます。	女性管理職比率	20%以上 （課長職相当以上）	**●グループ全体：4.0%** ●AOKIホールディングスで「えるぼし認定（3つ星）」取得 ●グループ各社で社外社労士の女性活躍アドバイザー活用 ●先進企業との情報交換実施　●男性の育児休業取得推進
		正社員一人当たり教育訓練費	80千円以上	**●グループ全正社員平均：1人当たり37千円** ●大学教授を招いた社内ビジネススクールの開催 ●AOKIグループラーニング（eラーニング）の活用　●社外セミナーへの派遣 ●費用補助による公的資格の取得推進
		従業員満足度（組織サーベイの結果）	すべての項目（充実、教育、連帯感、信頼、公正） 4.0以上	**●グループ全体の5項目平均：3.8** ●取り組み強化に向けて新たなサーベイシステム導入（2023年度運用開始） ●人事制度改定による公正な評価　●労働環境の整備・向上
		ストレスチェック結果	高ストレス率 6.0%未満	**●グループ平均：9.0%** ●産業医や相談窓口などの継続的な周知徹底 ●残業時間削減に向けたきめ細かな取り組み実施
環　境 **地球環境に優しさを**	AOKIグループは、お客様の喜びを最大化していくために接客やサービスの質を高めると同時に、省エネ型店舗の導入など、地域社会や地球環境の“喜び”に通じるCO_2削減に積極的に取り組みます。また、お客様が着用しなくなった衣料のリサイクルを実施するなど、お客様、お取引先様とともに環境負荷の低減に取り組んでいきます。	CO_2排出量（Scope1+2）	2017年度比1店舗当たり 50%削減 （49.5t-CO_2）	**●10.8%削減（CO_2排出量88.3t-CO_2/店）** ●太陽光発電の新たな設置方法の検討 ●Scope3算出に向けたプロジェクトの推進 ●ファッション事業で不要な衣類を回収する“OKAERI エコ プロジェクト”の推進 ●廃棄ロスの削減
地域社会 **地域に活気と発展を**	全国各地に店舗を有するAOKIグループが持続的に成長していくためには、地域社会の活気と発展が欠かせません。AOKIグループは、文化活動の支援やスポーツ振興などに積極的に取り組むと同時に環境保全活動にも注力し、地域社会とともに成長する企業グループを目指しています。	地域貢献活動の実施	地域貢献活動を継続実施	**●AOKIグループ ハーモニーコンサートなど文化活動の推進** ●各種スポンサー契約の継続 ●グループ各社で行なっている地域貢献活動の推進・拡大および情報共有によるグループシナジーの向上
人　権 **責任あるサプライチェーンを**	気候変動・人権問題などグローバルな社会課題解決を進めていくために、AOKIグループは商品の企画開発から調達、製造、販売段階まで、素材メーカーや製造委託先および物流会社などと協働して、サステナビリティを軸とした取り組みに一層注力していきます。	CSR基準書の締結数	100工場以上	**●締結数：4工場** ●AOKIグループ人権方針の策定（2023年5月） ●サプライヤー行動指針を策定し、取引先様に送付（65社）
ガバナンス **より健全な経営体制を**	AOKIグループは、健全で迅速な意思決定と効率性・透明性を確保するコーポレート・ガバナンスを、企業としての持続的な成長の根幹となる仕組みと位置づけています。そのために絶えざる体制強化に加え、従業員のコンプライアンスへの意識向上に努めています。今後も、株主・投資家の皆様との対話を通じて、意思決定の仕組みや情報開示のレベルアップに取り組んでいきます。	コンプライアンス学習会の受講人数	全グループ社員	**●グループの全取締役が受講済** ●グループ全取締役へのコンプライアンス学習会の実施 ●eラーニングを活用した全従業員向けのコンプライアンス教育の実施
		通報窓口の認知度	100%	●社内報などを活用した認知度向上施策の展開

Environment 環境

AOKIグループは「TCFD提言」に賛同し、情報開示をさらに進めるとともに、各事業において環境負荷低減に取り組んでいます。

TCFD提言に基づく情報開示

基本的な考え方

AOKIグループは地球環境の保全を重要テーマと認識し、各事業における環境負荷低減に取り組んでいます。気候変動が企業などに与える影響に関する情報開示を求める「TCFD提言」にも賛同し、提言の枠組みに沿った情報開示をさらに進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

ガバナンス

サステナビリティ委員会において気候変動対応を審議

2021年12月、AOKIホールディングス取締役、部門長、グループ各社社長からなるサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会は原則年2回開催し、気候変動が事業に与えるリスク・機会の評価を行うとともに、グループ全体の持続的成長に向けた年度計画および中長期計画について審議し、取締役会に報告しています。

取締役会は、サステナビリティ委員会で審議された重要事項や各計画の進捗報告を受けることで、取り組み状況のモニタリングを行うとともに、気候変動関連事項を考慮した事業計画を立案、実行します。

戦略

気候変動関連リスク・機会と事業への影響・対策

気候変動の影響を背景とした温室効果ガス排出に関する規制強化や、再生可能エネルギーへの転換、消費者の消費志向の変化などは、AOKIグループの事業や財務に影響を及ぼす可能性があります。現時点で影響が大きいと想定されるリスク・機会については以下のとおりです。

想定される主なリスク・機会　※当社グループへの影響が大きいと想定されるリスクと機会のみ記載しています。

種類			内容		当社および各事業が認識しているリスクと機会				AOKIグループへの影響
					AOKI-HD	ファッション	ブライダル	エンターテイメント	
リスク	移行リスク	政策・法規制	炭素税・カーボンプライシングなど、規制強化による店舗運営コスト増		ー	●	●	●	大
リスク	移行リスク	市場	重衣料など既存商品の需要減と温暖化に対応した商品開発の遅れによる顧客離れ		ー	●	ー	ー	大
リスク	移行リスク	評判	脱炭素への取り組み、移行の遅れによる顧客の離反		●	●	●	●	大
リスク	物理的リスク	急性	災害、感染症の蔓延による店舗営業縮小および生産地や物流網の混乱による販売機会の喪失		●	●	●	●	大
機会	資源の効率性		リサイクルの活用	原材料のリサイクルによるコストダウン・価値向上	ー	●	●	●	大
機会	エネルギー源		火力発電エネルギーから再生可能エネルギーへのシフト	再生可能エネルギー利用拡大によるコストダウン	●	●	●	●	大
機会	製品・サービス		低炭素・脱炭素に貢献し得る商品・サービスの開発・拡大	サステナビリティに対応した新商品、新サービスの開発	ー	●	●	●	大
機会	レジリエンス（回復力）		資源の代替・多様化	代替原料開発と原料仕入れ先との提携強化	ー	●	●	●	大

リスク管理

3つの委員会が連携して気候変動リスクを管理

グループ全体のリスク管理は、コンプライアンス委員会・リスクマネジメント兼情報セキュリティ委員会が行っています。気候関連リスクについては、サステナビリティ委員会が事業への影響度を評価のうえ対応方針を決定し、その進捗をコンプライアンス委員会・リスクマネジメント兼情報セキュリティ委員会と共有しています。サステナビリティ委員会で特定された重要リスクとその対応については、取締役会に提言され、その承認のもと、事務局であるサステナビリティ推進室が中心となり、対応にあたります。

指標と目標

環境負荷低減のためCO_2排出量削減を推進

AOKIグループは、環境負荷低減のため温室効果ガス（CO_2）排出量の削減を推進しています。2030年度に向けては、2017年度（2018年3月期）を基準年としてScope 1・2の排出量について1店舗当たり50%の削減を目指します。また、2022年度よりScope3の開示を実施しました。2050年に向けてインターナルカーボンプライシングの導入も視野に入れ、サプライチェーン全体でCO_2排出量ゼロを目標にさらなる取り組みを推進する計画です。

CO_2排出量

		2018年3月期（基準年）	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
AOKIグループ全社（Scope1+2）	（t-CO_2）	124,381	117,645	114,157	113,818	112,989	119,324
AOKIグループ対象店舗数	（店）	1,256	1,209	1,253	1,299	1,328	1,351
1店舗当たりのCO_2排出量	（t-CO_2）	99.0	97.3	91.1	87.6	85.1	88.3

温室効果ガス排出量

（単位：t-CO_2）

	2018年3月期（基準年）	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
Scope1	2,370	2,427	2,732	2,775	2,890	3,178
Scope2（Market Base）	122,011	115,218	111,425	111,043	110,099	116,146
Scope3	-	-	-	-	-	325,079
カテゴリー1　購入した製品・サービス	-	-	-	-	-	250,912
カテゴリー2　資本財	-	-	-	-	-	24,956
カテゴリー3　Scope1・2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	-	-	-	-	-	18,970
カテゴリー4　輸送、配送（上流）	-	-	-	-	-	2,497
カテゴリー5　事業活動から出る廃棄物	-	-	-	-	-	12,731
カテゴリー6　出張	-	-	-	-	-	1,179
カテゴリー7　雇用者の通勤	-	-	-	-	-	3,031
カテゴリー8　リース資産（上流）	-	-	-	-	-	0
カテゴリー9　輸送、配送（下流）	-	-	-	-	-	442
カテゴリー10　販売した製品の加工	-	-	-	-	-	0
カテゴリー11　販売した製品の使用	-	-	-	-	-	0
カテゴリー12　販売した製品の廃棄	-	-	-	-	-	4,843
カテゴリー13　リース資産（下流）	-	-	-	-	-	0
カテゴリー14　フランチャイズ	-	-	-	-	-	5,518
カテゴリー15　投資	-	-	-	-	-	0
Scope1+2+3	-	-	-	-	-	444,403

エコ商品の開発

ファッション事業では、環境負荷の軽減に向けて、エコ商品の開発に注力しています。

例えば、汗を気にせず洗えるスーツをはじめ、冷暖房をおさえたオフィス内でも快適にお過ごしいただけるクールビズ用の通気性の高いスーツ・ワイシャツの開発および温度調節がしやすい着こなしやウォームビズ用に暖かい素材を使ったスーツ、ベストやカーディガンを提案しています。

また、地球環境に配慮した商品の開発も進めています。ペットボトルや衣料品、繊維くずなどを原料としたリサイクル繊維「エコペット®」（帝人フロンティア株式会社）や、不要になった衣料品や生産時に出る裁断くずの繊維を原料とする再生ポリエステル素材「RENU®」（伊藤忠商事株式会社）を使用したワイシャツなどを展開しています。

サステナブルな原料を使用したワイシャツ

Social 社会

AOKIグループは「社会の公器」として、お客様をはじめ、株主・投資家の皆様、お取引先様、従業員など、すべてのステークホルダーの喜びを創造するために、信頼関係とパートナーシップの構築を通じて社会の発展に貢献します。

株主・投資家の皆様との対話

AOKIグループでは、株主・投資家の皆様に、経営方針や事業戦略、業績結果、財務に関する情報を迅速かつ的確にお知らせするためにIRポリシーに基づいた活動に努めています。

2023年3月期は、機関投資家の皆様に対して年2回のオンライン決算説明会を開催し、書き起こしや動画の配信を開始しました。今期以降も、年2回の決算説明会や投資家の皆様への説明会およびホームページでの情報発信を通じて、対話を深めていきます。

お客様のために

お客様のご期待を超える商品・サービスを提供するため、AOKIグループでは店舗でのお客様のお声をはじめ、お電話やメール、アプリなどでいただく貴重なご意見や店頭でのお客様リサーチなどを通じて、商品開発や店舗環境を改善しています。これらの取り組みを、お客様のさらなる喜びの創造につなげていくことを目指しています。

■CS（お客様満足）の実現

ファッション事業では、お客様相談室を設置し、日々寄せられるご意見・ご提案を各部門で共有することで高品質な商品づくりや店舗づくりに役立てています。

2022年5月には「コンタクトセンターサービス」を開設し、コールセンター業務を内製化しました。店舗経験が豊富なスタッフがコールセンターを運営することで、これまで以上にお客様満足度の高いサービスの提供を目指しています。

また、2021年より導入を開始した「チャットスタイリングサービス」では、スタイリングスキルを持ったスタッフが、お客様のネットショッピングの不安や悩みに対し実店舗と同じようにチャットでお応えすることで、より快適なお買い物体験を提供しています。

アニヴェルセル・ブライダル事業では、結婚式後に「新郎新婦アンケート」を実施しています。スタッフの対応・サービスや商品・施設などに関するお客様のご意見を全施設で共有し、日々の改善活動に活かしています。

エンターテイメント事業においても、インターネット上でアンケートを実施し、お客様の「生の声」からサービスの向上に取り組んでいます。

■確かな品質とサービス確保

ファッション事業の商品の品質については、繊維製品品質管理士の資格取得の推進などの教育を強化するとともに、品質管理部と外部機関が継続的に品質の管理と向上を図っています。

また、アニヴェルセル・ブライダル事業では、一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が主催する「HRSサービスコンクール」のヤングプロフェッショナル部門への積極的な参加を通じて、スタッフのおもてなしスキルの向上につなげています。

従業員のために

AOKIグループでは、お客様だけでなく、グループで働くすべての人々の喜びを創造することも大切だと考えています。

一人ひとりが個性を発揮し、いきいきと活躍することでお客様のお役に立てる環境をつくるために、自分のライフステージに合わせて働き方を変更できる制度の導入を行っています。近年では男性の育児休業取得にも注力し、ダイバーシティやワークライフバランスへのさまざまな取り組みを推進しています。

お取引先様とともに

AOKIグループはお客様にとって価値ある商品とサービスを提供するためには、お取引先様との協力関係を構築することが重要だと考えています。そのため、ファッション事業ではお客様のお声を共有するために、サプライヤーの皆様と品質改善のための会議を開催するとともに、商品開発にも携わっていただいています。また、定期的にサプライヤー様を訪問するなど、現場での関係構築に努めています。

■CSR基準書の締結に向けて

サプライチェーン全体の管理のために、ファション事業では、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）に関するアンケート調査を実施することにいたしました。これに先立ち、人権や労働慣習、環境などについて定めた「サプライヤー行動指針」を策定し、お取引先様（65社）に送付しています。

■人権方針の策定

AOKIグループの事業コンセプトである「人々の喜びを創造する」の“人々”にはお客様をはじめ、お取引先様、従業員など、すべてのステークホルダーの皆様を含んでいます。

バリューチェーン上すべての人々の人権が尊重されるように人権方針を策定し、取締役会の監督のもとに人権尊重の取り組みを今後も進めていきます。

地域社会とともに

「公共性の追求」を経営理念の一つに掲げているAOKIグループでは、ビジネス以外でも社会に貢献することが重要であると考えており、地域社会における文化活動の推進やスポーツ支援、次世代育成のための活動に取り組んでいます。

■「AOKIグループ ハーモニーコンサート」を開催

事業活動の基盤となる地域社会に貢献するため、AOKIグループは文化振興として「AOKIグループ ハーモニーコンサート」の開催に取り組んでいます。1973年にスタートして以来、2022年9月には24回目を迎えました。

第24回AOKIグループ ハーモニーコンサート（©K. Miura）

■スポーツ支援

AOKIグループの創業地である長野県で、1998年に開催された長野冬季オリンピックの理念を継承し、翌年の1999年からスタートした長野マラソンに第1回大会から協賛しています。

また、ユニフォームのスポンサーを通じた学生スポーツの支援や、J1リーグ「川崎フロンターレ」およびB1リーグ「横浜ビー・コルセアーズ」へのオフィシャルスーツの提供などによって、スポーツ振興に貢献しています。

第25回長野マラソン（©信濃毎日新聞社）

Governance ガバナンス

2023年6月29日、当社は監査等委員会設置会社に移行しました。これによって、取締役会に対する監督・監査機能をさらに強化し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ります。

基本的な考え方

当社の経営理念は、「社会性の追求」、「公益性の追求」、「公共性の追求」です。この経営理念を追求し中長期的な企業価値を高めるうえで、コーポレート・ガバナンスが重要であると認識しており、経営管理組織などを強化することで経営の透明性・公正性を高め、健全で効率的な経営を行うことを基本としています。

そのためには、組織の見直しやリスク管理体制の強化を図るなどの内部統制システムを改善するとともに、適切な情報開示と株主の皆様の権利確保や対話、その他ステークホルダーの皆様との適切な協働などにより、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を図っていきます。そしてこの3つの経営理念を追求し企業価値を高めることで、株主の皆様やその他ステークホルダーの皆様の期待にお応えしていきます。

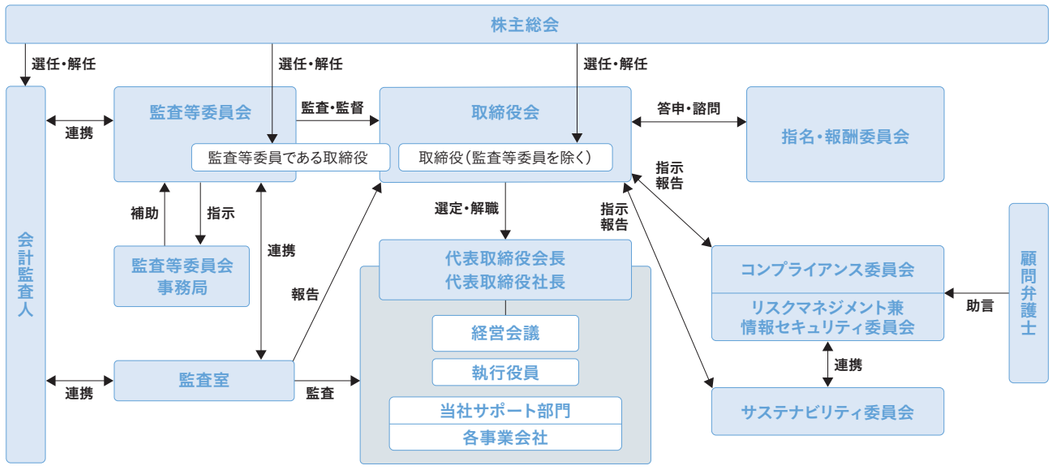
なお、委員の過半数が社外取締役で構成される監査等委員会が、業務執行の適法性、妥当性の監査・監督を担い監査等委員である取締役に議決権を付与することにより、取締役会に対する監督・監査機能を強化し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ることを目的として、2023年6月29日開催の定時株主総会決議により、監査等委員会設置会社に移行しました。

コーポレート・ガバナンスの体制

監査等委員会設置会社である当社において、監査等委員は3名とし、うち2名は社外取締役としています。監査等委員を除く取締役は、社外取締役4名を含む10名で構成され、月1回、その他臨時取締役会を開催するとともに、常勤の監査等委員である取締役を含めて経営会議を週次で開催し、重要事項の意思決定や経営課題の報告、情報交換がなされています。また、執行役員制度を導入しており経営の意思決定の迅速化を図っています。

役員の選任および役員報酬の決定に関する公正性、透明性をさらに高めるため、指名・報酬委員会を設置し、社外取締役を委員長とし、その他社外取締役1名および取締役1名を含む3名体制としています。

コンプライアンス委員会は、原則月1回開催し、コンプライアンスに関わる課題の検討を行うほか、個別案件については顧問弁護士を交えて協議する法務相談会を月1回開催し、当社グループの内部統制システム強化のため、必要に応じて規程やマニュアルなどを整備するとともに勉強会などにより、その周知を図っています。



リスクマネジメント兼情報セキュリティ委員会は、原則月1回(リスク関連は年数回、情報セキュリティ関連は月1回)開催し、グループで想定されるリスクの評価やその対策などについて検討し、それをリスクマネジメント基本ガイドラインとしてまとめるとともに、その内容について定期的に見直しを行うこととしています。

取締役会の実効性評価および取締役全体としての多様性

当社は、2023年4月から6月に取締役会の実効性評価を行いました。評価の方法は、取締役会において事前に評価の主旨について説明し、取締役会の構成や運営などについて全取締役を対象とした無記名アンケートとなります。アンケート結果は社外取締役に提出され、集計結果は6月の取締役会で報告・分析が行われました。その結果の概要は、取締役会は全体として実効的に機能していると判断しました。

一方、①取締役会としての多様性は十分とは言えない。②経営判断に必要な情報が不十分であり、特に機会の限られる社外取締役へは理解をより深められる情報提供や情報交換が不足している、あるいは③取締役会として必要な知識やスキルをアップデートするための機会が必要であるなどの意見があり、今後①については長期的な観点で計画的な人財育成を継続する。②については、常勤の取締役で構成される経営会議の決裁権限の拡大により、取締役会の議案の一部を移管することで審議時間を十分取る。③については、外部識者からのノウハウの提供や勉強会を実施するよう改善していきます。

また、当社の取締役会は、異なる事業をサポートする持株会社として、専門知識や経験の異なる取締役で構成するとともに、多様性を確保するため、社外取締役比率や女性取締役比率の向上に取り組んでいます。2023年6月29日時点での社外取締役比率は46.2%、女性取締役比率は23.1%となっています。

スキル・マトリックス

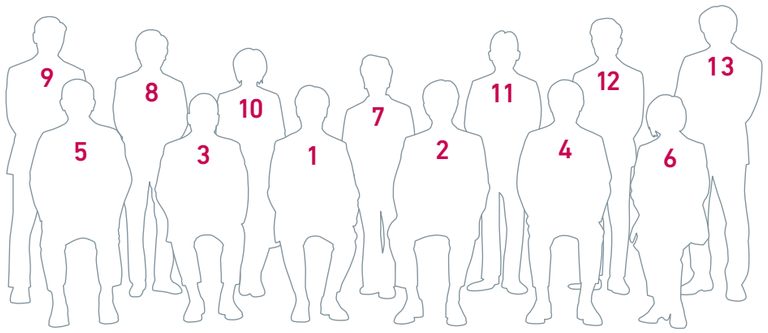
氏名	現役職	特に専門性を発揮できる分野および経験				
		経営全般	マーケティング・営業・業界知見	ITデジタル	財務・会計	法務
青木　彰宏	代表取締役会長	●	●			
田村　春生	代表取締役社長	●			●	
照井　則男	取締役副社長執行役員	●		●		
青木　柾允	取締役専務執行役員	●	●			
投元　谿太	取締役専務執行役員	●	●			
川口　佳子	取締役執行役員		●			
尾原　蓉子	社外取締役		●			
髙橋　光夫	社外取締役	●			●	
中村　英一	社外取締役	●	●			
菅野　園子	社外取締役					●
峯村　光治	取締役(監査等委員)					●
上平　洋輔	社外取締役(監査等委員)				●	
金井　　暁	社外取締役(監査等委員)					●

※上記は、特に専門性を発揮できる分野および経験を示すものであり、対象者のすべての知見を表すものではありません。

コーポレート・ガバナンスの詳細については、「コーポレート・ガバナンス」ページをご覧ください。

WEB https://ir.aoki-hd.co.jp/ja/corporate/governance.html

取締役・監査等委員 (2023年6月29日現在)



取締役

1 代表取締役会長
青木 彰宏

1994年 4月 当社入社
2003年 5月 オリヒカ事業創業
2005年 6月 執行役員
2008年 4月 ㈱オリヒカ代表取締役社長
2009年 6月 当社常務取締役
2010年 6月 代表取締役社長
2018年10月 ㈱AOKI代表取締役会長
2022年 6月 当社代表取締役会長（現任）

2 代表取締役社長
田村 春生

1980年 4月 ㈱横浜銀行入行
2003年 4月 アニヴェルセル㈱入社
2004年10月 同社専務取締役
2006年 6月 当社入社 執行役員 グループ財務担当
2007年 6月 取締役
2008年 4月 常務取締役
2010年 4月 グループ管理・財務担当
2010年 6月 取締役副社長
2022年12月 代表取締役社長（現任）

3 取締役副社長執行役員
グループ事業戦略・システム管掌
照井 則男

2003年 2月 スターバックスコーヒージャパン㈱入社
2008年 4月 同社Vice-President 情報システム本部長
2015年11月 当社入社 執行役員
2018年 6月 常務取締役
2019年 6月 グループ情報システム担当
2021年 6月 ㈱快活フロンティア取締役
2022年 6月 当社取締役副社長 ㈱ランシステム取締役（現任）
2023年 1月 グループ人事・システム担当
2023年 6月 取締役副社長執行役員 グループ事業戦略・システム管掌（現任） ㈱快活フロンティア 取締役執行役員（現任）

4 取締役専務執行役員
グループブランド管掌
青木 柾允

1993年 4月 当社入社
2004年 6月 アニヴェルセル㈱ 取締役副社長
2010年 3月 同社取締役副会長
2010年 6月 当社常務取締役 ㈱アニヴェルセルHOLDINGS 代表取締役社長（現任）
2020年 6月 当社グループブランディング担当
2022年 6月 専務取締役
2023年 6月 取締役専務執行役員 グループブランド管掌（現任）

5 取締役専務執行役員
グループ総務・コンプライアンス管掌
投元 谿太

1985年 4月 当社入社
2000年10月 アニヴェルセルヴィラ ヨコハマ総支配人
2010年 4月 アニヴェルセル㈱取締役
2016年 9月 当社執行役員
2019年 6月 常務取締役 グループ戦略担当兼社長室長
2020年 6月 アニヴェルセル㈱ 代表取締役会長
2022年 6月 当社専務取締役
2022年11月 グループ戦略・コンプライアンス担当
2023年 6月 取締役専務執行役員 グループ総務・コンプライアンス管掌（現任）

6 取締役執行役員
グループ人事管掌
川口 佳子

1985年 4月 ㈱福武書店（現㈱ベネッセコーポレーション）入社
2008年 4月 ㈱東京個別指導学院出向 人財本部副本部長
2011年 3月 ㈱ベルリッツ・ジャパン出向 サービス開発室室長
2013年 4月 ㈱サマンサタバサジャパンリミテッド入社 人事企画部長
2016年 6月 同社執行役員
2019年 5月 ㈱THEグローバル社入社 人事部長
2022年 9月 当社入社 執行役員 グループ人事担当
2023年 6月 取締役執行役員 グループ人事管掌（現任）

7 社外取締役
尾原 蓉子

1962年 4月 旭化成工業㈱（現 旭化成㈱）入社
1999年 3月 ㈶ファッション産業人材育成機構IFIビジネス・スクール学長
2008年 5月 ㈱良品計画取締役
2009年 4月 ㈶ファッション産業人材育成機構IFIビジネス・スクール 名誉学長
2015年 6月 当社取締役（現任）
2018年 7月 （一社）ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション創設者・名誉会長

8 社外取締役
髙橋 光夫

1977年 4月 当社入社
1990年 6月 取締役
1997年 7月 ㈱ドン・キホーテ（現 ㈱パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス）入社 管理本部長
1997年 9月 同社取締役
2005年 9月 同社専務取締役CFO
2019年 9月 同社専務執行役員CFO
2020年10月 同社理事
2021年 6月 当社取締役（現任）

9 社外取締役
中村 英一

1979年 4月 伊藤萬㈱（現 日鉄物産㈱）入社
2005年 4月 同社執行役員メンズ衣料第二部長
2010年 4月 同社常務執行役員中国総代表
2015年 6月 同社取締役常務執行役員
2018年 4月 同社取締役専務執行役員
2020年 6月 同社顧問
2022年 6月 当社取締役（現任）
2023年 3月 ㈱バロックジャパンリミテッド SCM改革タスクフォース長
2023年 5月 同社取締役副社長（現任）

10 社外取締役
菅野 園子

2004年10月 弁護士登録
2004年10月 東京合同法律事務所入所
2010年 4月 豊中総合法律事務所入所（現在）
2022年 6月 当社取締役（現任）

取締役 監査等委員

11 取締役
峯村 光治

1983年 4月 当社入社
2010年 4月 経営管理室長
2022年11月 コンプライアンス室長
2023年 6月 取締役監査等委員（現任）

12 社外取締役
上平 洋輔

2008年11月 公認会計士試験合格
2008年12月 あらた監査法人（現 PwCあらた有限責任監査法人）入所
2012年 9月 公認会計士登録
2014年 7月 税理士法人プライスウォーターハウスクーパース（現 PwC税理士法人）入所
2014年10月 税理士登録
2023年 6月 当社取締役監査等委員（現任）

13 社外取締役
金井 暁

2003年10月 弁護士登録
2003年10月 あさひ・狛法律事務所（現 西村あさひ法律事務所）入所
2012年 5月 新樹法律事務所開設
2013年 5月 大知法律事務所開設 代表弁護士（現任）
2016年 4月 ニッセイプライベートリート 投資法人監督役員（現任）
2023年 6月 当社取締役監査等委員（現任）

会社概要(2023年3月31日現在)

商号	株式会社AOKIホールディングス (AOKI Holdings Inc.)
事業内容	グループ会社の経営管理、 並びにそれに付帯する業務
会社設立	1976年8月21日
資本金	232億82百万円
従業員数	2,967名(6,075名)(連結) (　)内は、契約社員およびパート・アルバイト社員(1日8時間換算)の年間平均雇用人数

役員一覧(2023年6月29日現在)

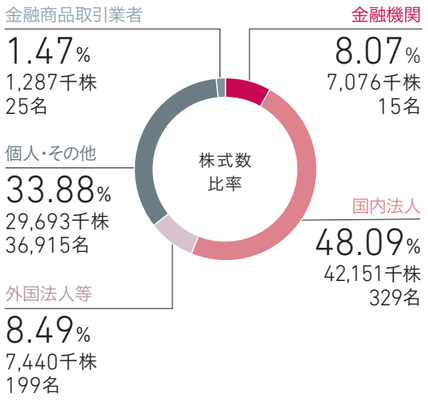
代表取締役会長	青木　彰宏	執行役員	野口　暉充
代表取締役社長	田村　春生	執行役員	﨑村　誠一
取締役副社長執行役員	照井　則男	執行役員	須長　健司
取締役専務執行役員	青木　柾允	執行役員	立川　延之
取締役専務執行役員	投元　谿太	執行役員	小林　修
取締役執行役員	川口　佳子	執行役員	石松　昇
社外取締役	尾原　蓉子	執行役員	山室　隆
社外取締役	髙橋　光夫	執行役員	中牧　功一
社外取締役	中村　英一	執行役員	菅原　壮
社外取締役	菅野　園子	執行役員	浅田　靖浩
取締役(監査等委員)	峯村　光治		
社外取締役(監査等委員)	上平　洋輔		
社外取締役(監査等委員)	金井　暁		

株式情報(2023年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数…… 133,679,900株
発行済株式の総数…… 87,649,504株
(自己株式 2,746,866株含む)
株主数…… 37,483名

所有者別株式分布状況

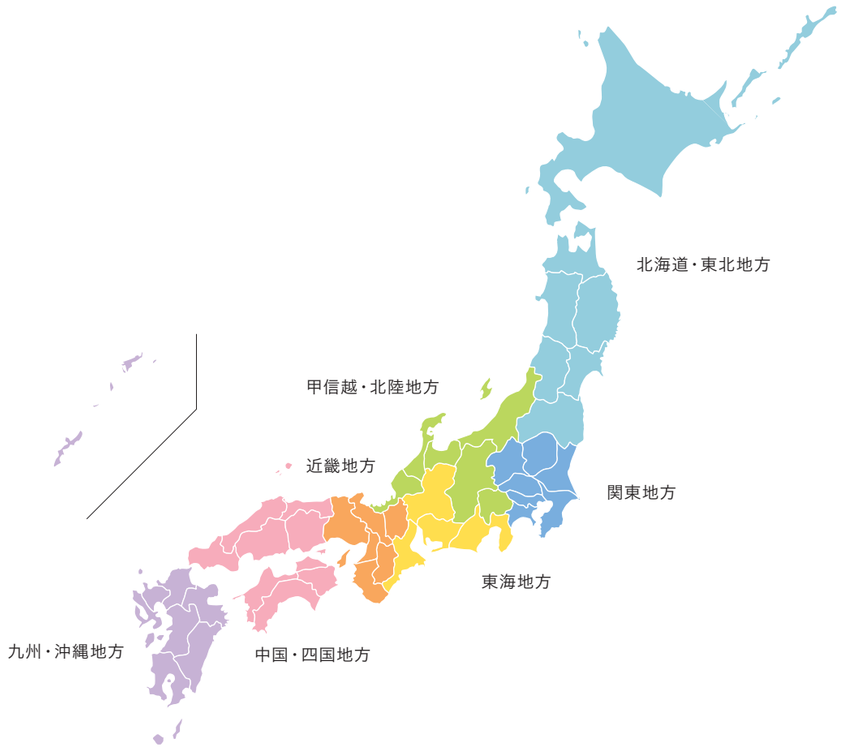


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社アニヴェルセルHOLDINGS	33,415	39.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,816	5.67
株式会社トレイデアーリ	4,300	5.06
青木　彰宏	2,573	3.03
青木　柾允	2,554	3.00
AOKIホールディングス従業員持株会	2,023	2.38
青木　寶久	1,846	2.17
青木　拡憲	1,843	2.17
AOKIホールディングス取引先持株会	1,800	2.12
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,513	1.78

※1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、および株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数は、すべて信託業務に係るものです。

エリア別店舗数(2023年3月31日現在)



	北海道・東北	関東	甲信越・北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
ファッション	49	266	57	105	81	5	33	596
アニヴェルセル・ブライダル	0	6	1	1	2	0	0	10
エンターテイメント	85	343	69	90	96	53	87	823※
合計	134	615	127	196	179	58	120	1,429

※株式会社ランシステム含む

お問い合わせ

〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号
Tel. 045-941-1888(代表)
https://www.aoki-hd.co.jp/

[お問い合わせフォーム]
https://support.aoki-style.com/holdingscontact?company=holdings